




安城市	所属議員	稲垣退三、辻山秀文、守口晶治
------------	------	----------------

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応	
具体的取り組み 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における電気自動車等の普及を図るため、集合住宅（マンション・アパート等）に設置する充電インフラ整備に対して2022年度までに補助金を確立させる。 ・2025年までに公用車の電動化率20%及び老朽化した充電ステーションの更新・整備を加速させる。 	
前回まで 活動状況	<p>‘21年6月の一般質問にて、本市におけるCNへの取組みの考え方と課題の共有し、CO2排出量低減に向けたロードマップ作成等への要望、提言を実施。</p> <p>‘21年7月、嶋口Gにて、CO2排出ゼロに向けた先進事例として、㈱豊田自動織機高浜工場殿にて太陽光発電によるCO2フリー水素を製造、フォークリフトに供給するFe11-Cellシステムを視察。CNに向けた取組みの重要性を認識した。</p> <p>R4年度の会派政策要望の検討作成において、CNへの取組み内容及び要望事項等の検討会議を会派メンバーにて複数回実施した。</p>	
今回 具体的活動	<p>① 「令和4年度に向けた政策要望」を神谷市長へ提出</p> <p>本市を取巻く環境は大きく変化しており、地球温暖化抑制のために『カーボンニュートラル（脱炭素化）』の取組みは喫緊の課題です。先見の視点を持ち、ウィズコロナ社会を生き抜く、新しい生活様式の構築を目指し“市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち”を目指して活動して行く。</p> <p>《要望書抜粋》</p> <p><u>カーボンニュートラル（脱炭素化）の推進</u></p> <p>地球温暖化対策として2050年CO₂排出量実質ゼロを目指して、本市のあるべき姿に向けたエネルギー政策の大幅な転換や、革新的な技術開発等の取組みが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs目標「13.気候変動に具体的な対策を」で求められている具体的な方策や時期等のロードマップを作成し本市の地球温暖化対策計画を明確にすること。 ・脱炭素社会に向けた電動車の普及促進のため、効果的な充電設備や水素充填ステーションのインフラ設備の環境整備の推進と新たに導入する公用車は（電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車）電動車を検討すること。 <p>② 企業の先進事例を調査研究</p> <p>11/3 嶋口Gにて㈱デンソー安城製作所殿を訪問し、工場から排出されるCO2ゼロを目指して、CO2を回収して循環利用する実証施設「CO2循環プラント」を見学させて頂きました。小型化&高効率化が課題であるとの事でした。また、企業側から自治体への要望として「再生可能エネルギー（グリーンエネルギー）の確保」「インフラ（H2ガス）の整備」「地域間の連携」とお聞きしました。日本で永続的にものづくりが出来る様に行政へ取組みを求めて行く。</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p>10/4 会派要望書を市長へ提出</p>  <p>市執行部への要望会の様子</p>  <p>11/3 嶋口G 研修会</p>
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・‘22年3月議会での代表質問・一般質問にて政策要望の進捗状況の確認予定。 気候変動に対する具体的な方策や実施時期等の安城市版ロードマップについてフォローして行く。 	